

カテイラン

七輪を丈夫に

土器の七輪は古きにはれませんが、新しい、うちにタライのやうなものに水を一ぱい汲み込んで、その中に七輪をつけて一晝夜ばかりおき、取り出してよく乾してから用ひますと、非常

常磐文藝

我が魂 岸本哲雄

一 踏み躪じられし草花の下より喘へぐ魂は只吾てふあるのみか
二 はたの人をうらみそや我れより出でし塵垢拂はんすも片糸の
あはれ、いかんせん我が魂を
三 運命のみ手にさいなまれ世てふ流れに漂へるねぐらだもなき魂の鳥
四 我が身ながらの屍を我れは抱きて夕暮れの野邊に立ちし姿こそげにや、あはれと思ひ知る只、吾てふあるのみか。
一、二、一九、一

募集

文藝其他一般投稿を募集します

に丈夫になります、鐵製の七輪は、黒鉛を少量のサイズに溶かして外側へ刷毛で塗つておきますと體裁もよく丈夫です、また黒鉛だけを布につけて擦り込んでおきましょう。
天ぶらの油に火が入つた時
天ぶらの油に火が入つた時

貸地廣告

平町舊城跡(本丸) 飲料水の便よく住宅地に最も好適右御望みの坪敷御貸申候間御來談願上候
加藤營業所
平町字白銀町 電話乙三二番

看護婦派出の求めに應ず

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

外科……泌尿科 皮膚病 梅毒科
阿部醫院
平町字新川町 電話五七七番

有給外務員募集

▲業務簡易月給五拾圓外手當歩合にて月收百圓以上
▲人員五六名廿歳より四拾歳位
▲御希望の方は履歷書持參の上大至急御來談あらんことを乞ふ
平町田町六八 丸登株式店 電話三二二番

丸登株式店

平町田町六八 丸登株式店 電話三二二番

平町田町六八 丸登株式店 電話三二二番

平町田町六八 丸登株式店 電話三二二番

是非

平町二丁目(電話一五六番) 三井ハキモノ店

内科顧問醫學博士 鈴木清藏先生 明後日出張診療 平町 磐城病院 電話一四四番

株買中値

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七〇〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	三〇〇	二八五
田村實業	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二六〇
同新	一一五	二〇〇
同新	五〇〇	五四〇
同新	一一五	一五五
七七銀行	一一五	九五
郡山電氣	五〇〇	三八七
同新	二五〇	一八〇
只見川電	一一五	六五
植田水電	一一五	一五三
好間水電	一一五	一三五
磐城建物	一一五	五五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二七〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一〇〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	七五〇
同新	一七五	三〇〇
平運送	一一五	八〇

東新株

先限 丸登株式店 川添房二郎



定一部金貳錢 廣五號十二 休日 日曜大祭 福島縣石城郡平町田町卅六番地
一月極三限 告字詰一行 刊日 祝日ノ翌 印刷所 一〇活版所
一月極三限 告字詰一行 刊日 祝日ノ翌 印刷所 一〇活版所

發行兼編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町字長橋町卅五番地 發行所 常磐毎日新聞社

刊夕日二十二月二

寄書

農村振興の實際方策を論ず(三) 不禁大岳人

収入の僅少な農民は斯の如く低級な生活を営み而して牛馬に等しき労働に従事し猶且負擔に堪へ難くして人口制限の悲惨な境遇に立至つたのである榮達のため虚榮の爲めに誘惑の爲めに田園生活を捨て、都會に放浪する亦故あるかなである農村の生活の改善を叫び向上を希ふ者は須らく斯の如き事實に立脚して萬全の方策を立てねばならぬのである、然らば其方策如何此れ

頗る重大なる問題であるが吾人は先づ家内工業の奨励と農業賃金度合の引上と動力利用の奨励、工場分置制度の實行に如くはないと叫ぶのである、現今我國人口の増加に伴ふ國力の膨張に就て識者は頻りに海外發展を絶叫するか、然し乍ら濠州に支那に亞米利加に南洋に至る處排日の聲に満たさるはない、其責任の何れにあるや、暫く之を論外にし、少なくとも日本國民が大陸的襟度を具備せざる限り永久に排日の聲は絶えぬであらう故に海外發展は先づ第二段とし人口の増加は工業的發展を計るに依つて之を

緩和し農産業立國の大本を樹立せねばならぬ國土の狹隘は止むを得ない海外發展の阻止亦止むを得ない、是れは茲に我國は平面的發展を轉換して立体的發展に向はねばならぬ即ち支那亞比亞の大陸より低廉なる物資の供給を受け一大工業國として製造加工して以て無限に列國の需要に應ずるに如くはない而して斯の如き大理想の下に生産業の隆盛を計ると共に農村に於ける工場分置を創設して以て其振興を計らねばならぬ家内工業即ち手細工を奨励して以て農民の収入を計らねばならぬ。

労働運動の

狂的に近い研究者

昨今〇〇状を草案中

平署警戒の爲め色めく

大日本労働同盟加藤幹事 事として昨今〇〇状を草案中の由である爲め平署にては 藉りて来郡し潜航艇式の活動 を続け密かに労働組合組織に狂奔して以来警城炭礦の労働者中に動議を来せしもの、如く緩驛附近に居住せる其労働者は寧ろ狂的に近い労働運動家の研究者の娘いとせしに

宮城を拜観

平商三年生が

平商業學校にては三年生一同宮城及新宿御苑を拜観すべく其筋に願出た

娘いとせしに

偽りを申し立て

渡邊村の不審の火

實は娘の不注意から

石城郡渡邊村大字洞農高木熊吉方物置から去る三日午前五時半頃發火し物置便所を全焼せしめたが原因は妻タカ(〇)が自分の過失と警署官に申立てたるも不審の點あるより嚴重に審問した處包み切れずに娘ハマヨ(三)の過失である事を自白したハマヨは午前五時頃便所に提灯を持って行き壁に掛け忘れ再び眠りについた爲め火災を起したのであるが母親は娘いとしさに偽つて自分のあやまちの如く装つたのであると

施療患者の

少ない

平町の救療所

一般貧困者の施療を目的とする平救療所は既記の如く

木炭組合事業演三郡 木炭同業組合總集會は廿二

演武場地鎮祭平演武

場の改築は屢報の如くであつて昨日午後一時から地鎮祭を舉行したが来る廿七日上棟式を行ふの運びに至る

蹄鐵工の總會平署管

内獸醫及び蹄鐵工は廿二日午前十時から平署樓上に集芳賀本縣技手の講演があつた

日午前十時から郡議事堂にて開會し十三年度事業計劃其他を協議した

セメント拂込警城

メント株式會社にては新株一株につき七圓五十錢を來月一日迄拂込むやう株主に通知した

ボートレース

警中出身の小野君が

敗を招いて悲惨の涙

新聞記者の働きに身を委れて警中を卒業し海軍兵學校に入學した小野四郎君が此種新田日辯護士宛に左記の書信があつた(十六日)終つてしまひました、そして又もや大いに頑張つた甲斐もなく、敗れ五分隊に一着をせしめられ實に残念です我が七分隊は怒りにして、はるか前方に漕ぎぬけ海口を出る時は、遂に元氣を出して五分隊を二つ、身位ぬき一番で、たしなめたさばかり益々元氣をだしましたか如何したか、か問もなく五にぬかれました、精一、この時は既に力盡き續いて、はるか後方より追ひ付いた四分隊にも、はげしい競争の後遂にぬかれました我々は人に悲憤の極ラストビで大いに彼等に追ひ付きましたが已に聖時は最近の力で數十歩後れて遂に三番となつてしまひました八洲を一時二十七分餘で漕いだ譯ですがラストヘビーの頃は元氣回復して、益々力がますます不思議な位でした。

珍聞奇聞

選挙を種にし 群馬縣

下の百萬長者小澤宗平氏は今井前代議士の親書を示した男に多額の金を詐取する命を的に脅迫 運轉手高山米雄(三)が東京市内を自動車疾走中一人の男が不意に飛び出し治療代を強請 盗まれた銅像 横濱市

平郡線にも

線路に標札を横へて 妨害

危く轉覆を免る

平郡線より四百五十八號列車が廿日午後五時頃川前夏井間を進行中列車に激動を感じたので停車の上取調べた處何者かが線路の上に涼車注意の標札を横へて置いたのを發見其筋にて犯人嚴探中である

不平受付

投票募集

婦人會の入場券 先達愛

國婦人會から活動寫眞の觀覽券を買つたのですがあつてよく觀覽券を見ますと場

眞面目な問題

(四六) 育 發 點 頂

女性の完成は處女の完成である。完全な處女は子を生育する才能を包含する。例へば植物の蕾は發育の極點に置かれてお花は蕾に於て既に完成されたのであつて、花辨が開き實が熟するのは只爾後の經過にすぎない、女性に於ては結婚までが發展であり、それ以後は結果である凡ての準備が處女期に盡され、處女の體內に於て凡ての女性が既に完成されてあ

マネキ

帝國館が今晚から差替へ上場した純映畫劇狂女は唄ふは帝都界のファンを熱狂せしめた名映畫である

らねばならぬのである、出來上つた處女は之を身體的に見、又精神的に見て完全であることを希望する、身體的の完成は女性の生理作用の完全を期待するので、之を得んがためには充分に健康を維持しつゝ、その自然的發育を阻害しないやうに努める外はない。よき胚種から發育した女性でさへあれば、健康が凡てを都合よく進展させて呉れるのである。即ち此の場合に於ても健康第一であることを要し、之を達せんがためには衛生學の智識が應用される。

營業部長に榮轉する

宮田支局長の述懐

有志相諮り記念品を贈呈

在平新聞記者中の先輩として尊敬を一身に集めて居たいはらき平支局長宮田三朗氏は既記の如く同社營業部長に榮轉する事となり不日出發の筈であるが同氏は謙遜な態度で『平町には七年間住んで居ましたので自分の故郷も同様なつかしさを覚え今度の轉任に際しても迷はざるを得なかつたのですが社命である以上是れをもだし難く遂に赴任の意を決するに至つたのです、

若松市にて

青年大會

四月を期し

本縣社會課で事務を扱つてをる縣青年團聯合會春期大會は來る四月中旬若松市にて開會に決したがこれまで

宮田兩氏送宴

尼子亭にて

此程いはらき新聞平支局長より本社營業部長に榮轉したる宮田三朗氏及東京日々新聞平通信部より酒田同

平町人事

- ▲仲間町 人樂壽次郎氏三女ヒサ
- ▲南町 永野柳造氏六男節
- ▲鎌田町 猪狩博氏長男昌良
- ▲長橋町 渡邊力氏長女キミ子
- ▲死亡
- ▲六人町 野本嘉重(六)
- ▲鎌田町 和知孝子(二)

公人私人

- ▲青木壽氏(警務課勤務部) 故大塚氏の後を襲つて植田分署長に任命さる。
- ▲日野經彌氏(平署高等けい事喜多方署勤務を命ぜられ其後任しては元平署けい事部長であつた吉田實氏)
- ▲長谷川四良氏(元平商校教諭) スポーツマガジンを發刊の計畫だつたが都合に依り延期